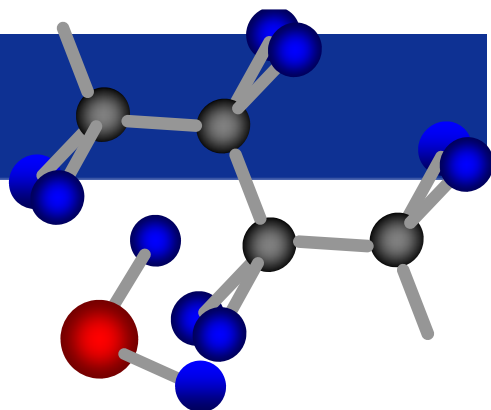


## 正反射型 赤外線膜厚計／水分計

# RX-200

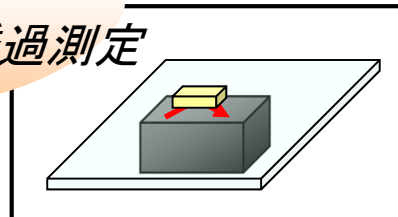


### — 正反射P偏光型のオンライン標準機

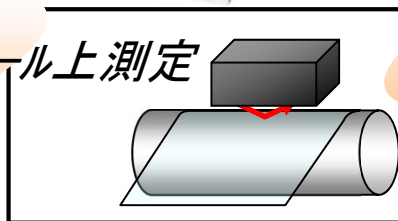
誤差要因となる表面反射を軽減した確かな測定—



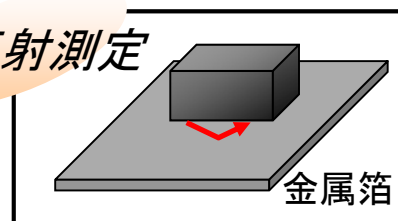
#### 透過測定



#### 鏡面ロール上測定



#### 反射測定



#### 用途例

- 各種プラスチックフィルム（PET・PP・PE・PI・PVA他）や複層フィルムのオンライン厚み測定
- 光学フィルム関連（位相差フィルム・偏光フィルム・保護フィルム・反射防止フィルムなど）
- プラスチックフィルム・金属箔上の各種有機コーティング厚み測定
- ラミネートフィルムの接着剤塗布量測定
- 防曇加工シート（水性防曇剤の塗工量）

#### 特長

##### ■ 透明品から金属上までマルチに対応できる、正反射型スタンダード機種

正反射型光学系を採用し、透明フィルムも金属上のコート品でも同一機種で対応可能です。

##### ■ コート層や中間層といった選択的な測定が可能

測定対象層や成分に合わせて使用波長を選定。化学の眼をもった膜厚計が実現できます。

##### ■ 抜群の測定精度

当社独自のP偏光方式を採用。薄膜や狭域でも相関性が高く、かつワークの距離変動に強い光学設計です。

##### ■ 安全な光を採用した非接触・オンライン測定が実現

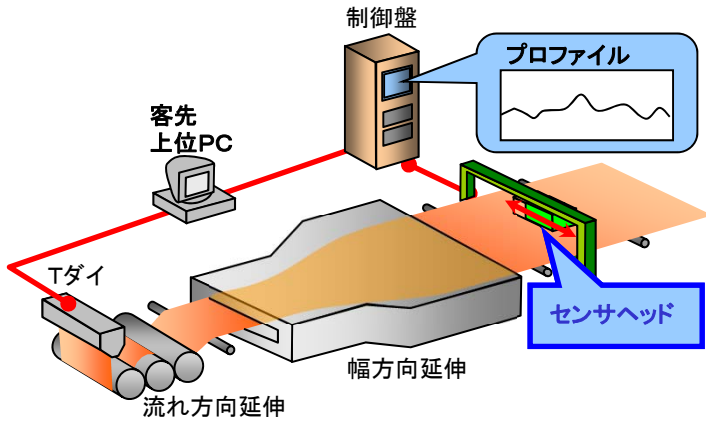
赤外線方式を採用していますので、β線方式より安全で取扱いが容易です。

##### ■ 高い応答速度と長期安定性

最小の応答速度は約50msecと僅かな厚み変化でも見逃しません。

さらに3波長測光方式を採用しており、周囲環境や装置の変動に対して長期的な精度を確保します。

## 導入例

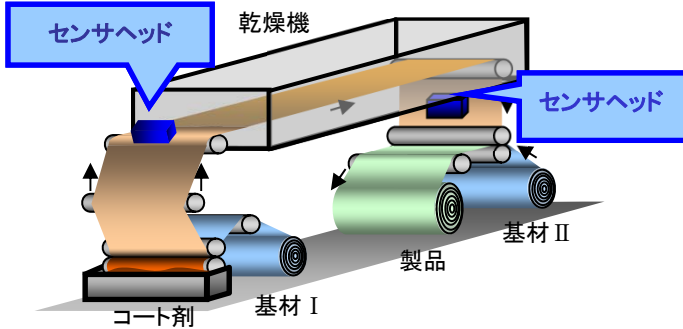


被検査物中に赤外線を照射しますと、膜厚あるいは水分値に応じた特定波長の赤外線吸収現象が生じます。

この吸収の強さを検知器で捉えることにより、あらかじめ求めておいた検量線式から、膜厚や水分を測定できます。

また、当社独自のP偏光入射方式を採用。表面反射や界面多重反射による誤差を軽減し、赤外線膜厚計にとって理想的なハードウェアを提供しています。

※WET測定は水性に限る



オンラインシステム  
も承ります

## 仕様

測定仕様	
測光方式	赤外吸収方式
分光方式	回転フィルタ方式 (6枚実装可)
測定距離	25mm (本体部下面より)
測定面積	反射測定の場合：5×8mm (楕円)，透過測定の場合：10×15mm×2スポット
本体仕様	
センサヘッド部	外形寸法：230 (W) × 134 (D) × 90 (H) (突起部含まず)
	重量：3.3kg
中継ユニット部	外形寸法：250 (W) × 140 (D) × 113 (H) (突起部含まず)
	重量：3kg 電源：AC100V±10% 50/60Hz 200VA
データ処理部	外形寸法：275 (W) × 300 (D) × 165 (H) (突起部含まず)
	重量：6kg 電源：AC100V±10% 50/60Hz 200VA
外部出力	アナログ0~10Vまたは4~20mAから選択 (出荷時に設定)
使用温度	5~40°C (結露なきこと)



倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 検査計測システム部

計測システム課 〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30  
TEL 072-812-5208 FAX 072-812-5265

ホームページ <http://www.kurabo.co.jp>